

# みなみちた 議会だより

第141号

平成24年11月1日



篠島の「矢穴石」出発式

## ◇ 9月定例議会

17議案を認定・可決	2ページ
平成23年度決算を認定	3
町の考えは（一般質問5氏）	5
議会日誌・表紙の写真	10

〒470-3495 愛知県知多郡南知多町大字豊浜字貝ヶ坪18  
発行/南知多町議会 ☎65-0711  
編集/議会広報特別委員会 FAX65-0694

# 9月定例会

## 議案の審議結果

議長は賛否に含みません。

(○可決 ×否決)

### 平成23年度決算

- 一般会計決算認定 (賛成10 反対1)
- 国民健康保険特別会計決算認定 (賛成10 反対1)
- 後期高齢者医療特別会計決算認定 (賛成9 反対2)
- 介護保険特別会計決算認定 (全員賛成)
- 漁業集落排水事業特別会計決算認定 (全員賛成)
- 師崎港駐車場事業特別会計決算認定 (全員賛成)
- 水道事業会計決算認定 (全員賛成)

### 平成24年度補正予算

- 一般会計補正予算(第三号) (全員賛成)
- 国民健康保険特別会計補正予算(第一号) (全員賛成)
- 後期高齢者医療特別会計補正予算(第一号) (全員賛成)
- 介護保険特別会計補正予算(第一号) (全員賛成)
- 水道事業会計補正予算(第一号) (全員賛成)

### 条例関係

- 町防災会議条例の一部改正 (全員賛成)
- 町災害対策本部条例の一部改正 (全員賛成)
- 南知多町長等の給与の特例に関する条例の制定 (賛成9 反対2)

### 専決処分

- 固定資産評価審査委員会委員の選任  
・石黒忠史氏(大井) (全員賛成)
- 一般会計補正予算(第二号)  
・篠島矢穴石を名古屋城に展示するための搬出等に要する関係経費 (全員賛成)

### 請願

- 定数改善計画の早期実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める請願 (全員賛成)
- ×「ゆきとどいた教育」の前進をもとめる請願 (賛成3 反対8)

\*\*\*\*\*  
 9月定例会は、9月6日に開会、二〇日間の会期を経て、町長提案の一七議案を認定・可決しました。  
 \* また、請願一件を採択、意見書(議員提案)一件を可決して9月25日に閉会しました。  
 \* その概要をお知らせします。  
 \*\*\*\*\*

### 意見書

- ×「教育費無償化」の前進をもとめる請願 (賛成3 反対8)
- 定数改善計画の早期実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書 (全員賛成)
- ×「ゆきとどいた教育」の前進をもとめる意見書 (賛成5 反対6)



▲公共交通対策事業(海っ子バス・豊浜線)

# 平成23年度決算を認定

## <一般会計>

歳入	76億3,410万円	(前年度比2.0%減)
歳出	71億8,970万円	(前年度比3.0%減)

## <特別会計>

国民健康保険	歳入	29億2,450万円	歳出	27億7,838万円
後期高齢者医療	歳入	1億9,968万円	歳出	1億9,754万円
介護保険	歳入	15億3,895万円	歳出	15億5,799万円
漁業集落排水事業	歳入	8,802万円	歳出	8,164万円
師崎港駐車場事業	歳入	1億4,308万円	歳出	1億3,679万円

## <企業会計>

水道事業(収益的収支)	収入	7億1,668万円	支出	6億6,036万円
(資本的収支)	収入	2億3,126万円	支出	4億9,777万円



文教厚生委員会 9月12日

### 決算関係

**問** 地域自殺対策緊急強化事業の内容及びその効果はどうか。

**答** 講演会「夜回り先生いのちの授業」を総合体育館で開催し、四百人の参加を得て、命の大切さを学んだ。また、子どもを支援する関係者の研修会などを開催し、子どもの見守りについての必要性を共有し、自殺対策に効果があった。

**問** 知多南部広域環境組合の分担金の内訳は、どのようにになっているのか。

**答** 知多南部広域環境組合の分担金については、均等割一〇%、人口割九〇%の割合である。

**問** 内海で実施している学童保育は、通常と夏休みでは何人か。また、内海の児童のみか。

**答** 通常は六人、夏休みは一五人で、内海、山海の児童である。

**問** 成年後見利用促進事業負担金の増額の理由はなにか。

**答** 五市五町で総額二八、一三八千円、負担。割合は均等割一〇%、人口割七〇%、受任件数割二〇%で、そのうちの受任件数割が増えたためである。

**問** 平成23年度における内田佐七家の入館者数は何人か。また、県外から視察研修を希望する団体はあったか。

**答** 定期公開、平日の申し込みによる見学、文化活動などによる入館があり、合計は二、二七七人。また、通常の公開日においても県外からの入館者はあるが、視察研修の申し込みによる県外からの入館は、桑名市の一団体である。

**問** 町適応指導教室へ通う児童生徒は何名か。

**答** また、本町は地域性もあり、町内一施設では通うのが困難な児童生徒もいるのではないかと考えるが、その対応については、どうか。

**答** 平成23年度中の町適応指導教室の通級者数は四名である。ご指摘の地域性に加え、引きこもり等の理由で教室へ通うことが、困難な児童生徒への対応として、家庭訪問や教育相談を専門で行う支援者の雇用を検討していきたいと考えている。

**問** 近年朝食を摂らない子供たちが増えてきている。学校給食では栄養配分を考えているが、朝ごはんを食べるよう指導しているのか。

**答** 栄養教諭、栄養職員を中心に、学校訪問で行う食に関する教育の中で朝ごはんの大切さを、子供たち、保護者に対し啓発するとともに、「早寝・早起き・朝ごはん」のパンフレットを配布するなど、望ましい生活習慣の定着に努めている。

### 補正予算関係

**問** 高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種委託料の具体的な公費助成金額及び対象者数はどれほどか。

**答** 高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種費用は公費助成額四千円、自己負担額四千円であり、対象者は七〇歳以上で四六五人並びに生活保護者一八人を予算化している。



総務建設委員会 9月19日

## 決算関係

**問** 各種台帳をデジタル化しているが、効果はあったのか。

**答** デジタル化するこ  
とにより、一つの  
パソコン上で図面・台帳・  
詳細図が閲覧可能となり、  
また、都市計画基本図を  
共用することにより利便  
性が向上している。

**答** 豊丘の境川樋門、  
片名の長谷川樋門、  
豊丘漁港の1号陸閘、大  
井漁港の6号陸閘の改築  
を行った。

補助率は国費五〇%、県  
費四%以内となっている。  
この事業は平成19年度よ  
り行っており、23年度で  
整備は完了した。

**問** 農業委員会費の決  
算額が前年度に比  
較して大幅増となってい  
るがなぜか。

**答** 平成21年の農地法  
改正に伴い、農地  
基本台帳システムで管理  
すべき項目が増えたこと  
により、農地基本台帳シ  
ステム整備委託料として  
三九九万円要したことが  
大幅増の要因である。な  
お、この事業は全額、県  
費補助で実施したもので  
ある。

**答** 内海商工会管内に  
一五、七五〇枚、豊  
浜商工会管内に一五、七五  
〇枚、師崎商工会管内に

一八、五〇〇枚、合計五  
万枚販売した。

**問** 災害対策費の中で、  
11節の消耗品費の  
金額が、昨年度より、大  
きいが、その理由はなに  
か。

**答** 主な理由としては、  
津波防災対策とし  
て購入した海抜表示板や  
津波避難経路看板等で、  
合わせて三二三万九千円  
である。

**答** 一定の条件を付し  
た一般競争入札で  
ある。町の実施要領では、  
設計金額が三億円以上の  
土木一式工事、もしくは  
建築一式工事又は町建設  
工事等指名審査委員会が  
必要と認めた建設工事を  
対象にしている。  
平成23年度は、豊浜中  
学校の本校舎等耐震補強  
及び外壁等改修工事の入  
札を制限付き一般競争入

## 条例関係

町防災会議条例一部改正

札で実施した。

**問** 今回の条例改正に  
より、所掌事務に  
ついて、重要事項に関し  
町長に意見を述べること  
という規定を追加したが、  
その理由はなにか。また、  
その他、町長が任命する  
者七人以内の見直しは、  
なぜか。

**答** 今回の改正は、災  
害対策基本法の一  
部改正に伴うもので、今  
までの防災会議で町長に  
意見を述べる機会が、実  
際になかったわけではな  
く、所掌事務の見直しに  
より、より明確化、重要  
な位置づけとするための  
改正である。また、委員  
の見直しについて、その  
他、町長が任命するもの  
の七人以内の定数を廃止  
したことは、将来的に女  
性や高齢者等の団体の代  
表者も委員として選定を  
想定している。

# 一般質問

- |     |        |  |
|-----|--------|--|
| 1 番 | 榎戸陵友議員 | (1) 消防団の運営と活動を考える<br>(2) いじめの現状と対策について |
| 2 番 | 沢田 清議員 | (1) 重点プロジェクト計画・推進について<br>(2) 企画部設置について |
| 3 番 | 吉原一治議員 | (1) 漁業の就業促進と後継者の育成について                 |
| 4 番 | 鳥居恵子議員 | (1) 公務員倫理とコンプライアンスについて                 |
| 5 番 | 山下節子議員 | (1) 公金横領事件について<br>(2) 学校図書の充実を         |

# 消防団の運営と活動を考える



榎戸 陵友 議員

**問**

消防団には、消火活動はもとより、地震や風水害といった災害時における救助、救出活動、警戒巡視、災害防

御活動も期待されている。しかしながら、各地区の消防団の詰所や施設には老朽化が著しい所があり、このままでは、十分な活動が望めない。第3分団1班（大井）の詰所は、雨漏りが確認され、2班（片名）の詰所は、老朽化が著しく進み雨漏りももとより、建物の耐震性も十分ではない。そのため、地域の安心と安全を守る活動に支障が出てきている。そこで、雨漏りと耐震補強及び外壁改築工事、場合によっては新築をお願いしたいが、いかがお考えか。

**答**

渡辺 総務部長  
第3分団1班（大井）の詰所雨漏りについて

では、その原因を調査するとともに、早めに対応したい。また第3分団2班（片名）の詰所については、町内で最も古く過去に幾度か建て替えの要望があつたが分団再編のからみで先送りとされてきた。分団再編も終了したので建て替えにむけて検討していきたい。

**問**

各分団の班の詰所の老朽化の状況はどうか。

**答**

現在、消防団の詰所や車庫等においては合計二九棟あり、そのうち昭和56年以前の旧建築基準で建てられたものは、十一棟あり、耐震診断を含め整備が必要と考えている。

**問**

消火栓格納箱は、各地区に何カ所設置してあるのか。また、どのように点検しているのか。

**答**

内海地区三二〇、豊浜地区三二四、師崎地区二二九、篠島地

区八一、日間賀島地区九三、合計一〇四七カ所で、点検は各地区の地元消防団が定期的の実施し、別に知多南部消防組合が、年一回水利も含め総合的に点検を行っている。

**問**

小型動力ポンプ及び積載車は、どのような配置や考え方で購入しているのか。

**答**

内海地区六台、豊浜地区一〇台、師崎地区七台、篠島地区六台、日間賀島地区六台の体制で、購入については、半島部は、一六年、離島部は、一四年経過を目安に更新するように努めている。

## いじめの現状と対策について

**問**

滋賀県大津市立皇子山中学校二年男子生徒が、昨年10月11日に飛び降り自殺をした。学校でのいじめを苦にしてと、みられている。また尊い命が、自らの手で失われた。二度と起きて

**問**

どのような対策をしているのか。

**答**

各学校では、学期に一回、記名式の教育相談アンケートを実施しているが、それに加えて、より答えやすいように無記名でアンケート調査も実施し早期発見と早期対応に努めていく。

**答**

大森 教育長  
平成23年度は、小学校六件、中学校五件で平成24年度は、6月までに小学校八件、中学校十件の報告があつた。



▲消防団の指導で防災訓練(片名地区)

# 重点プロジェクト計画・推進について



沢田 清議員

**問** ①防災対策②子育て支援③高齢者対策④産業振興⑤地域活性化について具体的な取り組みは。

**答** 齋藤企画部長  
①防災対策については、昨年の東日本大震災以降、重要かつ緊急の課題と認識し、住宅耐震診断を推進、小中学校耐震補強工事は、計画を前倒して実施してきた。本年度からは、防災安全課を新設して、防災体制の強化を図るとともに自治体メールサービスを開始し、緊急情報の提供を始めている。また、今後は災害情報を知らせる同報無線の整備を平成26年度の供用開始に向け準備を進めている。②子育て支援については、重点プロジェクトとして、「子育てしやすい環境づくり」を設定している。「子育て支援金支給事業」については、平成24年10月から、支給対象を改め、

第三子以降の出生児に対し、一人当たり十万円を支給する。「保育料軽減事業」については、平成24年度から同一世帯、同時入所二人目から無料。

また、放課後児童クラブ、子育て支援センターの充実を図り、子育て支援を進めている。③高齢者対策については、生きがい活動支援事業、配食サービス事業、緊急通報装置設置事業などを行っている。また、健康対策として、高齢者インフルエンザ予防接種事業を実施し、九月議会に高齢者肺炎球菌ワクチン予防事業の補正予算を提出。④産業振興については、第六次産業化による働く場所の確保を進め、南知多もぎたてみかん酒の開発など南知多ブランドの確立に努め地域資源を生かした観光振興を進め交流人口の増加を図りたいと考えている。⑤地域活性化については、まちづくり協議会を設置し、協働と連携によるまちづくりを推進してきた。今後も各協議会の実施する地域振興事業に対する補助を実施し、地域の持つ特性や伝統を生かしたまちづくりを推

**問** 「子育て支援金支給事業」の改正後の対象者はいるのか。

**答** 早川厚生部長  
10月からの支給対象者は、母子手帳の発行状況などから一四人の方が申請されると考えられる。

**問** 災害時における高齢者の把握はできているのか。町内各区分に先導者はいるのか。

**答** 高齢者の情報把握はできている。情報をもとに、災害時に援助を必要とする方々の避難や支援の方法については、町の防災安全課、民生児童委員、地元区、自主防災組織、消防団及び社会福祉協議会など、ともに助け合う組織づくりについて検討していく。

**問** 各産業の南知多ブランドとして、どう実現していくか。

**答** 平山建設経済部長  
農業においては、環境に配慮した減農薬や

進していく。

資源循環型の有機農業を推進し、付加価値の高い農産物を南知多ブランドとして育て上げ、地産地消などによる需要の増と価格の安定により農家所得の向上につなげ、担い手や後継者を確保していく。漁業においては、南知多町の魚を活かした水産加工を開発し、需要の拡大とブランド化により漁業者の収益増加を図っていく。観光業においては、「観光のまち＝南知多」そのものをブランド化するため、各産業との連携を通じ、地元の新鮮な野菜や果物、豊富な海の幸を活用した旅行商品の開発に取り組んでいく。

**問** 産業振興に加えて各地域の活性化にどう取り組むか。

**答** 齋藤企画部長  
南知多町まちづくり推進方針に基づき、運営費交付金として上限五〇万円を交付し、協議会事業費補助金として百万円を上限に三分の二を補助している。また地域振興等支援事業補助金として二〇万円を上限とし二分の一を補助し、支援し

## 企画部 設置について

**答** これまでは、議員提案で一般質問、委員会質問等において答弁のみで終わってしまう事例が多いが、質問者は町民の意見も入っているため企画部と調整して推進してはいかかがか。

**問** 齋藤企画部長  
議会における一般質問等で議員より提案の内容については、役場内の担当課において答弁の原案を作成した後、幹部会で担当課の垣根を越えて検討を行っている。また、委員会等の意見、提案についても、必要に応じて幹部会で、幅広く、具体的、詳細な検討を行う体制をとっており、議会答弁の結果、町全体に関わる施策を検討する必要があるれば協議の場に企画部も常に参加し、企画部が調整している。今後も企画部設置の目的を果たすように努力していきたい。

ている。

# 漁業の就業促進と 後継者の育成について



吉原一治議員

**問**

近年の日本の雇用情勢は極めて厳しく、就職氷河期と呼ばれる状況がずっと続いているが、漁業においては、慢性的に人手不足である。本町の漁業は、県下最大の水揚げを誇り、この町の観光業や飲食業、食品加工業などと深く関わる基幹産業である。ところが、この二〇年間で、漁業の就業者数は三七・五％も減り、それにつれて、この町の活気も失われてきたように思う。漁業後継者の育成と就業支援についてどのように考えているか。

**答**

平山建設経済部長  
漁業の衰退を阻止するためにも、就業したい人の受入れは、将来にわたる人材確保の観点からも大事なことと考える。

**問**

漁業に就業を希望する人への情報提

供や就業支援策はあるか。

**答**

国の補助を受けて愛知県漁業協同組合連合会の実施する事業として、求人情報などの情報提供事業、海上指導などの漁業研修を行う新規就業者確保・育成事業、そして海技免許取得を支援するベーシックスキル事業がある。また、来年度からは、国の施策で新規漁業就業者に対する新たな給付金制度が導入されると聞いている。

**問**

町長は昨年3月の議会で、私の質問に答えて「厳しい労働環境下にあっても報われる夢がもてなければ後継者は育成できない」と言ったが、人が生きていくのに欠かせない食料を生産する漁業や農業は、本来夢とやりがいのある仕事だと思ふ。そして、一生懸命働いた人は、流した汗の分だけ必ず報われる仕事だ。いま、町外からこの町に転入して、漁師

**答**

石黒町長

仕事に夢のもてない仕事はない。本町の漁業も皆様の情熱でもって、県下一の水揚げを誇る産業にしていただいている。漁業に対しては、私も大いに魅力を感じるものである。

**問**

町外からこの町にきて、新たに漁師の仕事に就く若者にとって、住むところを見つけることが、新しい生活の第一歩となる。見知らぬ土地で、経験のない仕事に挑戦しようとするこ

はそれだけでも勇気のいることである。新たな人生を本町で踏み出そうとしている若者を応援したいと思うが、町長の考えはどうか。

**答**

新規の漁業就業者への国の支援制度が用意されており、さらに新たな給付制度も検討されている。また、住宅に対しても応援している方法はないか検討しているが、まだまだ足りないと感じている。

**問**

漁業への理解を深め、新たに就業した若者を知ってもらうために、町の広報などで紹介してはどうか。

**答**

齋藤企画部長

漁業者に限らず、地域で活動されている人を紹介していくことは有意義だと考えるので、前向きに検討していく。

**問**

漁業者自身でもバッチリ網漁業者と海苔養殖業者との相互協力などに取り組んでいる。漁業の活性化に取り組む町としての決意はどうか。

**答**

石黒町長

本町が漁業で支えられていることを十分認識しており、その活性化に努めていく決意である。



▲活気ある漁港の市場(豊浜)

# 公務員倫理とコンプライアンスについて



鳥居恵子議員

## 問

南知多町が誕生して五〇年。昨年、町制五〇周年をお祝いしたところである。町の歴史を顧みると、喜ばしい出来事ばかりではないが、町民は役場や職員に信頼を寄せ頼りにしてきた。

このたびの町の公金をめぐる不祥事は、こうした町民からの信頼を裏切り、五十年にわたって培ってきた信頼関係に傷をつけた非常に残念なことである。

一般企業においてもコンプライアンス（法令遵守）は、重要な課題と認識され、社員教育でも特に力をいれて取り組まれている。役場などの公共団体は、民間企業、事業所の模範となるべき立場にあり、公金等の金銭管理はもとより、住民との応対から事業所との関係においても、透明で公正かつ適切な対応が求められるか。

## 答

職員研修は、知多五町共同で、実施

れている。このような社会の要請にこたえて行くためには、組織内部の体制を整えるとともに、職員一人ひとりの高いモラルとコンプライアンス意識が必要であり、職員の倫理意識を高め、人材を育てて行かなければならない。職員の公務員倫理意識について、どうとらえているか。

## 答

鳥居副町長

職員の公務員倫理意識については、町職員の基本的な服務を定めた南知多町服務規程に「職員は、全体の奉仕者として職務を自覚し、誠実、公正に、かつ能率的に職務を遂行しなければならない」とあり、そのように認識している。

## 問

コンプライアンスに関する研修は、行ってきたか。その実効性についてどう考えているか。

## 問

今後、不祥事等の防止策をどのように行っていくか。

## 答

役場内部においては、公金の取り扱いについてマニュアルを作成し適正管理に取り組む。また、外部調査委員会での検討結果の報告を踏まえ、効果的な再発防止対策、隠ぺい体質とならないための対策の実施に取り組んでいく。また、こういうことが起こらない体質、起こり得ない体質にするため町長から職員へメッセージを送り、三点の共通認識事項を再確認した。①一体感を持

する新規採用職員研修、勤務年数により前期・中期・後期職員研修、新任係長研修、課長補佐研修などを実施している。これらの研修では、地方公務員法による服務規程の考え方などコンプライアンスに係る研修を含んでいる。その実効性は、研修に参加した職員から報告させ、法令遵守を再確認させている。

つて働く職場（各課、各係の風通しをよくする対策を示すことなど）②心身ともに健康な職場（職員の役割分担を前提に能力と業務量を把握できていることなど）③新たな価値を創造できる職場（もっとよくなるように問題意識を持って、対処していくことなど）。

これらを推進していくため、職場環境を職員みずから改善し、より強い信頼関係を築いていき、皆で話し合える職場環境となるよう取り組んでいく。また、職員の意識改革を進め、町民の皆様から信頼される役場職員になれるよう努力していく。



▲役場本庁舎(豊浜)



# 公金横領事件について



山下節子議員

**問**

平成20年9月に発生した公金横領事件が新聞報道に端を発し、本人の自供によって明らかになった。当時は会計管理者みずから責任をとるといふ思いで二度の穴埋めをする事により、事件は表面化することはなかった。懲戒免職は当然の事である。また会計管理者が穴埋めしたことは隠べい体質が問われる。横領と同時に公務員のモラルとして見過ごすことはできない。この問題は住民の信頼、信用を失墜させる大問題だ。責任の所在、再発防止策を講じていただきたい。

**答**

渡辺総務部長

聞き取りによると、当時、会計管理者から総務部長に、公金紛失の原

因が特定できないため、現時点では内々の話しとしてほしいとの要望があったため、町長まで報告しなかった。

**問**

出納室の問題だけとして責任を問うのは縦割り行政のあり方だが、不審をいただき税務課としても当時の総務部長に報告すべきだったと考えるがいかがか。

**答**

納税者の方の持っていた領収書が出納室で収めたという押印であったため、出納室に対応をまかせたようである。

**問**

当時の町長に報告し問題解決をしていけば、あとになって深く傷つくこともなかった。町長と職員の信頼関係も問われる。当時の出納室の職員が一人いるが、この職員の複雑な思い、痛みを共有できなければこの問題は解決できない。

今後この問題をどのように対処していくのか。

今後この問題をどのように対処していくのか。

**答**

石黒町長

事件前、職員に「明るく、楽しく、生き生きと」、目的の共有、互助精神の共有、こだわりの共有をするよう示した。

幹部は行政の目的を明確に示し、職員がその目的に一体感を持つて取り組む中で、この度の事件を乗り越えていきたいと考えている。

## 学校図書の実を

### 充実を

**問**

「五カ年計画」による地方財政措置などを活用して図書購入費の予算化を図り、学校図書館の図書整備が進められているか。

**答**

大森教育長

平成19年度からスタートした「学校図書館図書整備五カ年計画」で講じられた地方財政措置を利用し図書購入費を増額してきた。

**問**

司書教諭の有資格者の養成や発令、学校図書館の専門家を中心とした活動体制の整備は進んでいるか。

**答**

町内小中学校のすべてが、配置基準を満たしてない。ただし、内海小学校と豊浜小学校については、学級数が多いこともあり、司書免許を持って先生に図書司書を委嘱している。

**問**

交付金を使って学校図書館に子ども新聞を設置してはいいかか。

**答**

子ども新聞は読解力が増し、読むことによって自分で調べられる能力が身につくといわれている。本町では今、必要なものとして限られた予算の中で、デジタル教材、倫理観、道徳観を向上させるための補助教材などを最優先している。子ども新聞の導入については、今後とも検討していく。



▲大井小学校図書館

# 表紙の写真

## 篠島の「矢穴石」出発式

9月18日、篠島漁協市場で園児からお年寄りまで、総勢約千人が参加して「矢穴石」の出発式が行われました。この石は名古屋城が築かれた四百年前に切り出そうとした跡が残る八トンの巨石。

道中安全の祈願の後、中学生の船型山車曳き、小学生の演舞「篠島魂」、名古屋おもてなし武将隊のトークショー、餅まきが行なわれ、出発式を盛り上げました。子どもたちには、篠島と名古屋城との歴史的なつながりを知り、この日の思いを心に刻み、鳥っ子としての誇りを持つて欲しいと思いました。

「矢穴石」は9月23日に名古屋城西の丸広場に運ばれ、三か月展示の後、築城に携わった加藤清正像のある名古屋能楽堂の南広場に移送されます。

# ◇ 議会 会 日 誌 ◇

## 《8月》

1日 県町村議会議長セミナー

2日 定例郡議長会

6日 町村議会広報研修会

10日 議会全員協議会

21日 知多地区農業共済事務組合議会定例会

23日 知多南部広域環境組合議会定例会

24日 定例郡議長会

30日 議会運営委員会

12日 文教厚生委員会

19日 総務建設委員会

25日 9月定例議会(最終日)

〃 議会広報特別委員会

## 《10月》

25日 議会広報特別委員会

29日 定例郡議長会

31日 県町村議会議長会定期総会

## 《9月》

4日 議会全員協議会及び議員懇談会

6日 9月定例議会(初日)

皆  
の  
声  
を

町民の皆さんの声をお待ちしています。読後のご意見・ご感想を議会事務局までお寄せ下さい。

TEL 05-0711 (内線3001) FAX 05-0694  
E-mail gikai@town.minamichita.lg.jp

**<12月定例会>お気軽に傍聴に来てください。**  
傍聴の受付は、8時30分～ 役場2階総務課へ

12月11日(火) 9時30分 本会議初日 (開会・一般質問・議案上程)  
12月20日(木) 9時30分 最 終 日 (委員長報告・採決・閉会)

(株)知多半島ケーブルネットワークによる録画放送は、  
12月23日(日)午前10時 地上デジタル 12ch (121)  
24日(月)午後10時 地上デジタル 12ch (122)

# 編集室より

## 海苔のはなし

例年、9月の定例議会の頃に海苔の種付けが始まり、10月を迎えると養殖網を漁場に張り込む。

網を張り込んでから一七日以内に水温が20度を下回らないと基部の発達不良により海苔が脱落してしまふので、慎重な張り込み時期の決定が求められる。自然相手の海苔養殖の難しいところだ。

今年には水温が平年並みということだが、11月には初摘みがあり、11月28日に初市がある。

海辺での海苔の摘み取り作業は、南知多の冬の風物詩。しかし、天災被害は、東北を例に見るまでもなく漁業にまで及ぶ。

浜の賑わいが、漁師たちの活気がこれからも何事もなく続きますようにと願うばかりである。

新海苔の採れたての磯の香りと柔らかい口当たりが楽しみです。

## 町のホームページ

http://www.town.minamichita.lg.jp/  
ホーム&暮らしの情報&議会

再生紙使用